

業課
農興
振興

夏秋いちごの一大産地を目指して
庄原いちごブランド化推進協議会設立

市内で夏秋いちごを栽培する5法人とJA庄原、県、市など関係機関が集まり3月22日、庄原いちごブランド化推進協議会設立総会を開催しました。

近年、市内で夏秋いちご栽培への企業の参入が進んでいることから、連携した取り組みで地域に根ざした夏秋いちご産地の育成を図ろうと協議会を設立。庄原産夏秋いちごの栽培技術の確立と高品質・高付加価値化を目指します。総会設立後には、(株)ソアラサービスの牛来千鶴さんを講師に招き、庄原いちごの可能性について学びました。



設立総会のようす



夏秋いちごは酸味が強く、ケーキなどの業務加工用途に適しています。現在、国内で流通する夏秋いちごは外国産が主流ですが、安心で質の高い国内産の需要が高まっており、今後、市場の拡大も見込める品目です。また、庄原市における夏秋いちご栽培面積は5法人合計で約4.5ヘクタールと、市町単位では全国屈指のものとなっています。

今後は当協議会で情報を集めながら、夏秋いちごの一大産地しようばらを目指して戦略的に活動を進めていきます。

育課
教指
導

新小学1年生は272人
各小・中学校で入学式

市内の各小学校の入学式が4月6日に、各中学校の入学式が4月7日に行われました。

4人が入学した川北小学校では、落岩範昭校長が「楽しみにしている国語



川北小学校の入学式

や算数の勉強が始まります。どうか一つ一つを丁寧に勉強し、身に付けていってくださ」とお祝いの言葉を贈りました。

在校生17人を代表して6年生の渡邊伽南子さんが「みなさんが入学してくるこの日を楽しみにしていました。一日も早く学校に慣れて、一緒に楽しい学校生活を送りたいと思っています」と歓迎の言葉を述べ、その後出席者全員で校歌などを斉唱しました。

本年度、小学校に入学した新1年生は市内全体で272人、中学校は292人です。

平成23年度児童・生徒数一覧表

平成23年4月1日現在

(単位:人)

学校名	区分						合計
	1年	2年	3年	4年	5年	6年	
庄原小学校	66	63	57	74	44	68	372
永末小学校	7	8	14	9	4	11	53
高小学校	6	8	9	6	11	14	54
峰田小学校	6	5	5	10	5	4	35
板橋小学校	26	24	13	23	19	21	126
東小学校	20	22	26	32	27	34	161
山内小学校	7	16	8	9	9	5	54
川北小学校	4	2	2	3	5	5	21
西城小学校	14	22	23	13	20	16	108
美古登小学校	11	6	15	2	12	10	56
小奴可小学校	5	3	13	7	9	12	49
八幡小学校	2	7	5	6	6	4	30
粟田小学校	5	4	3	3	3	5	23
東城小学校	45	49	47	49	55	40	285
□南小学校	9	5	14	12	12	16	68
□北小学校	5	8	6	4	6	3	32
高野小学校	16	14	11	22	12	18	93
比和小学校	7	13	7	8	10	16	61
総領小学校	11	12	17	17	20	11	88
小計	272	291	295	309	289	313	1,769
庄原中学校	132	170	160				462
西城中学校	21	34	28				83
東城中学校	74	55	61				190
□和中学校	27	17	14				58
高野中学校	18	22	23				63
比和中学校	5	12	13				30
総領中学校	15	12	13				40
小計	292	322	312				926
総合計							2,695

下水道課

生活と自然環境の保全に期待
高野町湯川地区の農業集落排水事業が完成

湯川地区の下水道整備となる農業集落排水事業が完成し、4月から供用を開始しました。4月23日には地元農業集落排水組合の主催による通水式が行われました。

この農業集落排水事業は、し尿や生活雑排水を集めて処理するもので、湯川地区の生活・自然環境の保全と向上を目的に整備を進め、平成18年4月の事業採択から5年の歳月を経て、本年度施工予定の舗装復旧工事と一部浄化槽工事を残して完成しました。神野瀬川の最上流地域で下水道が完成したことで、地域の生活環境はもとより河川をはじめとする自然環境の保全が期待できます。

また、生活排水を処理するだけでなく汚泥の有効活用を進めるため、湯川処理場から搬出した汚泥と高野中央処理場の汚泥を農地へ還元できるよう、濃縮した汚泥を脱水機にかけ、それを発酵乾燥させて肥料化する予定です。その肥料を製造するための汚泥コンポスト施設(循環利用システム)を高野中央処理場に隣接して整備する計画です。



完成した湯川処理場

総事業費 約7億8,700万円

事業概要

計画区域面積

11.5畝

処理人口

108戸380人

日平均汚水量

103立方メートル

管路整備延長

9,016メートル

中継ポンプ

9カ所

下水道処理区域では
下水道へ接続しましょう

市は、生活環境を改善し、河川などの水質保全を図るために、下水道への接続を推進しています。

公共下水道・農業集落排水処理施設が供用を開始した処理区域内にある建物は、3年以内に管路への接続(排水設備の設置)が義務付けられていますので、早期の接続をお願いします。

地域における水質浄化をいっそう推進し、生活環境を向上させるためにも、二日も早い接続をお願いします。

問い合わせ 下水道課管理係
☎0824-73-1175
または各支所担当室



管路接続に必要な経費に対する助成制度があります

庄原市水洗便所改造資金融資あっせんおよび利子補給制度

市は、公共下水道や農業集落排水に接続する際に、くみ取り便所の改造費や排水設備工事にかかる経費について、無利子で金融機関の融資をあっせんしています。

●融資あっせん額
上限100万円

●償還期間
60カ月以内

※利子は市が負担します。

●対象者

東城町の区域では下水道の供用開始から3年以内、東城町以外の区域では5年以内に下水道に接続する方

※特例として、本年4月1日から平成27年3月31日までの4年間は、対象期間が過ぎている建物でも、くみ取り便所の改造費は対象になります。